

## 1 加入申し込みについて

### ■ 生協の組合員が加入できます

生協は、組合員によって構成される組織です。出資金を払って組合員になれば、誰でも生協を利用することができます（生協により出資金の額は異なります）。

食品や日用品などのCO・OP商品と同じく、CO・OP共済を利用するためには、本人または家族が生協の組合員であることが必要です。生協の組合員になれば、商品と共済のどちらも利用することができます。

### ■ 身近な生協職員が窓口です

CO・OP共済の加入に関する手続きは、主に生協の商品を配達（共同購入や個別配達）する職員やお店が窓口です。

ご加入希望の際には配達商品を受け取る時や、お店に来店した際に、気軽にCO・OP共済についての加入手続きやお問い合わせをすることができます。また、CO・OP共済オフィシャルホームページやコープ共済センター（コールセンター）にて、資料請求やその他のお問い合わせを受け付けています。



CO・OP共済オフィシャルホームページ  
<http://coopkyosai.coop>

### ■ お申し込みから契約成立までの流れ

お申し込みは、加入申込書に必要事項を記入し、生協の窓口（店舗または共同購入センター）に提出いただくか生協所定の住所に郵送いただけます。生協で加入申込書を受付後、商品代金の振替口座、または契約者指定の金融機関の口座から、共済掛金が収納されます。初回掛金が振り替えられますと、契約が成立し、翌日午前0時から契約が有効となります。契約が成立した場合は、「共済証書」を契約者に送付します。



### 加入手続きフロー

#### 1 加入申込書のご請求



加入申込書のご請求は、生協の窓口（店舗または共同購入センター）または、CO・OP共済オフィシャルホームページにて資料のご請求ができます。

※CO・OP共済に加入するには、お近くの生協の組合員になることが必要です。

#### 2 加入申込書へのご記入



契約申込前に「重要事項説明書」および「契約意向確認書」をお読みいただき、ご了承いただけます。

※健康告知事項は正しくご回答ください。健康状態によってはご加入いただけない場合がございます。

#### 3 加入申込書のご提出



加入申込書を生協の窓口（店舗または共同購入センター）へご提出いただくか、生協所定の住所に郵送いただけます。

後日、加入申し込みを受け付けたことをお知らせする「加入申込受付のお知らせ」を郵送でお届けします。

#### 4 保障の開始と共済証書のお届け

指定の口座から初回掛金を振り替えさせていただきます。初回掛金振替日の翌日午前0時から契約が有効となります。

※インターネットでも加入手続きが行えます（一部手続きできない生協もあります）。

## 2

# 共済金のお支払いについて

### ■ 共済金の請求手続き

CO・OP共済の共済金のご請求は、ご加入生協やコープ共済センター（コールセンター）が窓口となり、コープ共済連がお支払い手続き（業務）を行います（CO・OP生命共済《新あいあい》、CO・OP火災共済のお支払い業務は全国労働者共済生活協同組合連合会が行います）。

共済金請求の連絡を受けると、契約内容を確認の上、共済金請求の内容をお聞きし、請求に必要な書類を送付します。CO・OP共済では、迅速かつ丁寧な支払事務に努めています。

#### ◆ 共済金のご請求について ◆

**0120-80-9431**

受付時間：9：00～18：00  
月～土（祝日含む）

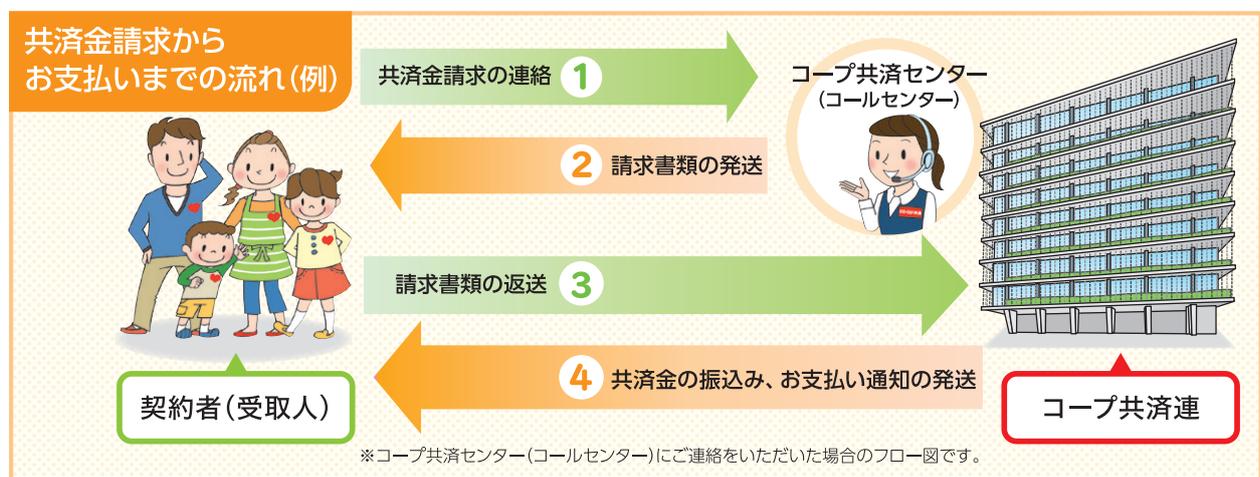
### ■ 請求からお支払いまでの流れ

共済金の請求書類が提出されると、コープ共済連では書類確認を行い、お支払いが確定したものについて、共済金を振り込みます。

### ■ 正確・公正・迅速・丁寧なお支払い

CO・OP共済では、加入者へより一層お役に立てるように、共済金のご請求を受け付けてからお支払いまでの日数短縮に努めています。共済金のご請求をいただいてからお支払いまでの平均日数は3.8日（書類不備等のケースを除く）です（2019年3月21日～2020年3月20日）。

一方、不正な共済金請求を防止する体制の強化など、公正に共済金をお支払いするための取り組みも行っています。



### ■ 請求書類への折り鶴の同封

CO・OP共済では、共済金の請求書類をお送りする際に、全国の組合員から寄せられた折り鶴を同封しています。この取り組みは、1992年頃、長野県の生協の共済担当職員が、お見舞いの気持ちを折り鶴に託して書類に同封したのが始まりです。

1995年の阪神・淡路大震災で共済金・見舞金をお支払いした際、書類に折り鶴を同封したところ、多くの方に喜んでいただいたことから、全国的な取り組みへと広がりました。現在では、全国の生協でボランティアの方が折り鶴作りに参加しています。共済金のお支払い通知の発送時に同封しているアンケートには、多くの皆さまから折り鶴についての「ありがとうの声」を寄せていただいています。



CO・OP共済の事業は、「組合員の声」を大切に運営しています。特に、商品の開発や改善、組合員対応などのサービス向上に際しては、「組合員の声」にもとづいて行っています。

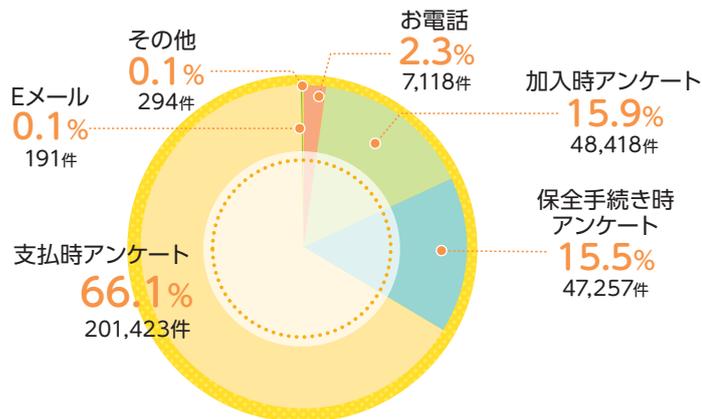
### ■「組合員の声」の受付状況(2019年度)

2019年度、304,701件の「組合員の声」を受け付けました。「組合員の声」は、お電話やアンケート、Eメールなどを通じて寄せられています。申出区分別の内訳では、全体の半分強が「ありがとうの声」となっています。また、受付窓口別の内訳では、全体の6割以上を支払時アンケートが占め、最も多く寄せられています。

#### ◎ 申出区分別の内訳

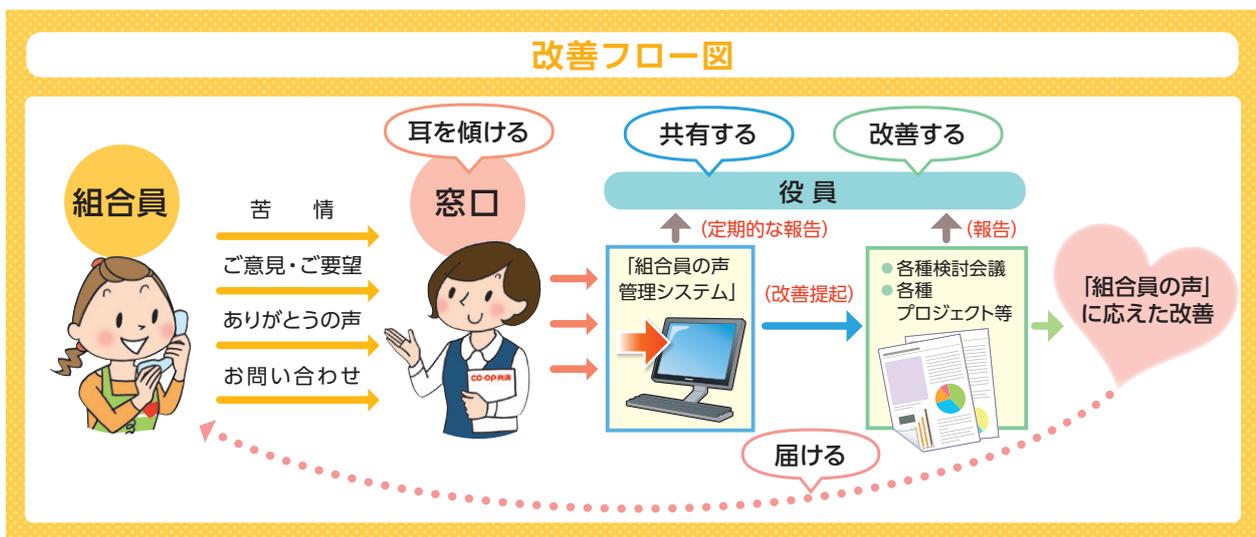


#### ◎ 受付窓口別の内訳



### ■「組合員の声」の共有と改善への取り組み

受け付けた「組合員の声」は、一元管理を行うため「組合員の声管理システム」に登録します。また、「組合員の声管理システム」へ登録した「組合員の声」は、定期的なサイクルで共有され、コープ共済連全体で改善を検討しています。



## ■ 改善事例

2019年度に変更・改善された内容の一部をご紹介します。



### 共済マイページをリニューアルしました！ 満期WEBシステムも開発！

**組合員の声**

- コールセンターに電話をする時間がない。スキマ時間に手続きしたい。
- 満期手続きはインターネットでできないんですね。インターネットでできる様にしてほしい。

**改善内容**

共済マイページ	満期WEBシステム
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ID・パスワードの即日発行が可能になりました。</li> <li>◆ 24時間いつでもどこからでもお手続き・ご契約内容の確認が可能になりました。</li> </ul> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">共済マイページでできること (2019年12月時点)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約内容の確認</li> <li>・ ケガ通院共済金の請求書類発行</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 《あいびらす》割戻金請求</li> <li>・ 住所変更</li> <li>・ 掛金振替口座変更</li> <li>・ 契約者変更(承継)届の書類発行</li> <li>・ 控除証明書(共済掛金払込証明書)の再発行</li> </ul> </div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※共済商品により可能なお手続きが異なります。契約状況・時期によりお取り扱いできない場合がございます。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2019年9月より、《たすけあい》20歳満期手続きが、書類を提出することなく、スマートフォン・タブレットでできるようになりました。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

## ■ 「組合員の大切な声」報告集2020

CO・OP共済へいただいた「苦情」「意見・要望」から取り組んだ「具体的な改善」や、「ありがとうの声」を含めた受付概要を掲載した年次報告集を、毎年発行しています。CO・OP共済オフィシャルホームページでもご紹介しています。

なお、2018年版より、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(以下、UCDA)により、UCDA認証「見やすいデザイン」を取得しています。



## CO・OP 共済の「組合員の声」への対応方針

### 基本理念

CO・OP共済へは、毎日、たくさんの組合員から「声」(ありがとうの声、ご不満の声)を寄せていただいています。この「組合員の声」は、生協の事業にとって、大切な声、貴重な助言となっています。私たちは、おひとりの「組合員の声」は1000人の声と受けとめ、寄せられた「組合員の声」に対して、誠実かつ迅速な対応を心がけ、CO・OP共済の改善につなげます。そして、「組合員の声」への対応を通じて、組合員に一番に選ばれ、安心して長くおつきあいしていただけるCO・OP共済をめざします。

### 「組合員の声」への対応方針

- 1 CO・OP共済を扱うすべての生協組織(コープ共済連と会員生協)の役職員にとって、「組合員の声」への対応は重要課題であると認識し、誠実かつ迅速に、最後まで責任を持って対応をおこないます。また、協力いただいている委託先および取引先との連携も迅速におこないます。
- 2 組織内の論理や「今まではこうだった」という考えに縛られることなく、法令(消費者基本法、消費者契約法等)の趣旨に照らして、消費者の権利、事業者の社会的責任、社会の常識を考慮して対応します。
- 3 申し出者や申し出の内容によって、分け隔てすることのないよう、公平に対応します。ただし、不当な要求には毅然と対応します。
- 4 「組合員の声」の情報は一元管理して分析・評価し、定期的に経営層へ報告して、CO・OP共済の商品や対応方法の改善につなげます。また、重大な事故につながらないか判断し、注意喚起情報の発信源となって、新たな事故の発生や拡大を防ぎます。
- 5 申し出者の個人情報は厳重に管理します。

2011年4月  
日本コープ共済生活協同組合連合会

## 1

## リスク管理の取り組み

コープ共済連は、共済事業を取り巻く環境変化や商品の開発・改定・運用資産の増加等に対応し、共済事業の健全性を確保するために、適切なリスク管理に努めています。

リスク管理基本規則等の規程を整備し、リスク管理の目的、管理すべきリスクの種類と定義、リスク管理の方法等を定めています。コープ共済連において管理すべきリスクとして、経営リスク、商品開発・共済引受リスク、資産運用リスク、流動性リスク、ALMリスク、事務リスク、システムリスクがあります。

コープ共済連では、リスク管理・内部統制部を設置し、保有するリスクを総合的に管理するとともに、各リスクごとに責任部署を定めモニタリングやコントロールを行っています。

## ■ 経営リスク

経営全般にかかる管理態勢の不備や外的要因および経営上の戦略的意思決定に関するリスクで、顕在化した際に非常に大きな影響を被るリスクのことです。

経営リスクの把握、対応方針の策定とリスク対策の実施、リスク対策の評価等のプロセスを整備し適切な管理を行っています。

## ■ 商品開発・共済引受リスク

商品開発・共済引受リスクとは、共済事故の発生率が共済掛金設定時の予測に反して変動することによるリスクのことです。

商品開発・共済引受リスクの洗い出し、定期的なモニタリング、商品開発・改定時の検証等を実施することにより、適切な共済金支払率となるよう留意する等、事業の安定性を十分考慮した管理を行っています。

## ◎ 再共済(再保険)について

台風等の大規模な自然災害の発生による共済金の増加や、入院や手術等の共済事故が想定以上に発生するといった共済引受リスクに備えるために、共済金支払責任の一部を再共済(再保険)に付すことでリスクの分散をはかっています。出再(再共済・再保険に出すことを意味します)の方針は共済リスクの特性や収支への影響および将来にわたる共済事業の健全性の維持等を総合的に考慮し決定しています。

再共済(再保険)は日本再共済連および再保険会社から調達しています。出再先の選定にあたっては、「出再に関する規程」を策定の上、再保険会社の格付けや財務状況を評価して選定を行っています。また、再共済契約締結後も、再保険会社の財務状況等を定期的にモニタリングしています。

主要な集積リスクである台風災害リスクについては、比例式再共済(共済金額の一定割合を出再する方式)により出再しており、その出再額の設定にあたっては、リスクモデルにもとづく定量評価を行い、当会の財務状況や大規模災害発生時に収支に与える影響を考慮し決定しています。

## ■ 資産運用リスク

資産運用リスクとは、金利・株価・為替相場等の変動、取引金融機関や債券発行体の財務状況の悪化等により保有資産の価値が減少し損失を被るリスクのことです。

生協法施行規則等に従って、資産運用規則、資産運用管理基本規程等の諸規程を定め適切な管理を実施しています。資産運用の執行状況やリスクの状況等について定期的に確認するとともに、資金の性格や負債の特性に応じて、安全性、収益性、流動性に留意した健全な資産運用を行っています。

## ■ 流動性リスク

流動性リスクとは、巨大災害、新契約の減少・解約の増加等により資金繰りが悪化し、資金の確保に通常よりも著しく不利な価格での資産売却を余儀なくされることにより、損失を被るリスクのことです。

資金繰りの状況や資金運用計画にもとづき流動性リスク状況を定期的にモニタリングし、十分な資金繰りを確保するための管理を行っています。

## ALMリスク

ALMリスクとは、資産と負債の総合管理に関わるリスクとして、負債である共済契約準備金（共済掛金積立金、割戻準備金等）に対応した資産が確保できないリスクのことです。

適切な予定利率の設定、利差損益およびキャッシュフロー等のモニタリングにより負債に対応した必要な資産を確保するための管理を行っています。

## 事務リスク、システムリスク

事務リスクとは、役職員等が正確な事務を怠る、あるいは事故・不正等を起こすことにより損失を被るリスクのことです。

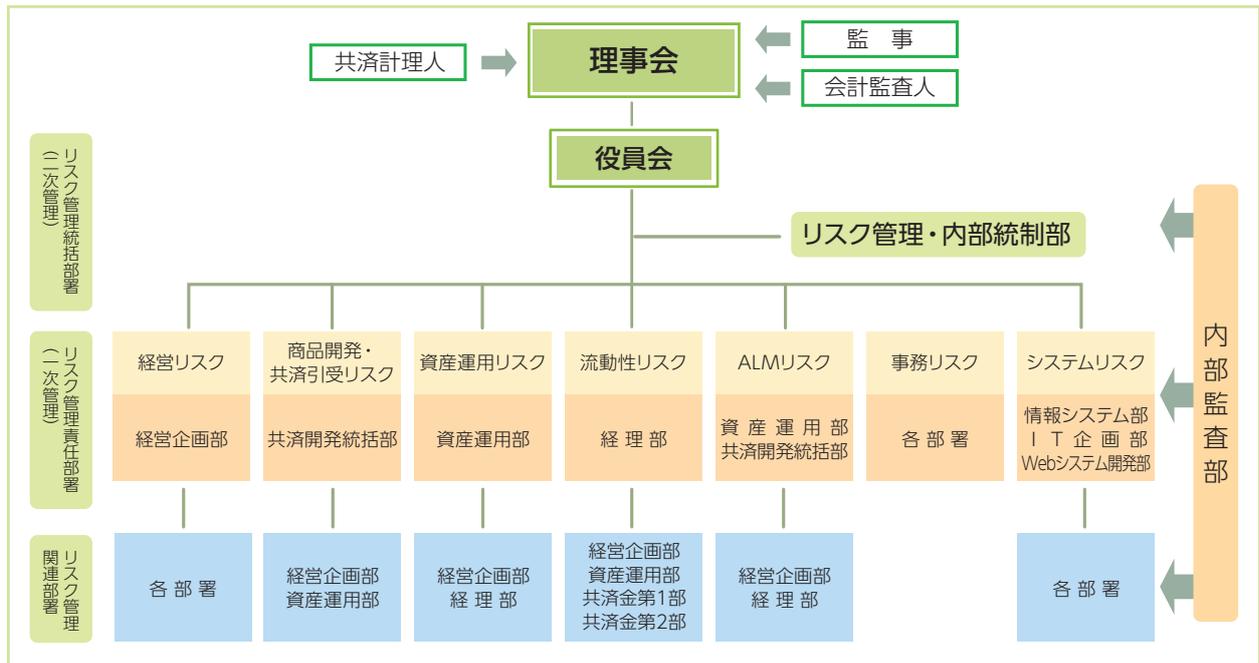
システムリスクとは、コンピュータシステムのダウンまたは誤作動等のシステムの不備に伴い、損失を被るリスク、コンピュータが不正使用されることにより損失を被るリスクのことです。

事務リスク、システムリスクについてはリスクの洗い出しを行い、重要リスクを特定し、対策を実施しています。また、「クライシス・不祥事件・その他事件事故管理規程」を定め事故の発生状況の把握と再発防止のための管理を行っています。

### 共済計理人 確認業務の実施

共済事業の財務の健全性の確保をはかるため、法令にもとづき共済計理人の確認業務を実施し、責任準備金の適正・十分な積立、公正・衡平な割戻し、事業継続基準、支払余力比率について確認を行っています。

## ◎ リスク管理体制



## 2

## 第三分野共済のストレステストについて

消費生活協同組合法第50条の12第1項第1号の確認（第三分野共済の共済契約に係るものに限る。）の合理性および妥当性

### 第三分野における責任準備金の積立の適切性を確保するための考え方

第三分野共済の共済契約について、第三分野共済のストレステストを法令および内部規程にもとづき実施し、共済事故の予定発生率が将来の共済事故発生率を十分にカバーし、責任準備金が適切に積み立てられていることを確認しています。

## ■ ストレストストにおける危険発生率等の設定水準の合理性および妥当性

第三分野共済のストレステストに使用する危険発生率は、法令にもとづき、コープ共済連における共済事故発生率の実績をもとに将来の共済事故発生率が変動するリスクの99%をカバーする水準としています。

## ■ ストレストストの結果

2019年度に実施した第三分野共済のストレステストの結果、異常危険準備金および追加責任準備金の積立は必要ありませんでした。

# 3

## コンプライアンスの取り組み

コープ共済連は、共済業務の健全かつ適正な運営および共済普及推進の公正を確保し、共済契約者等の保護をはかるために、各種法令、社会規範、内部諸規程を遵守することを経営の重要課題と位置付け、役職員すべてが日常業務の中で積極的に取り組んでいます。

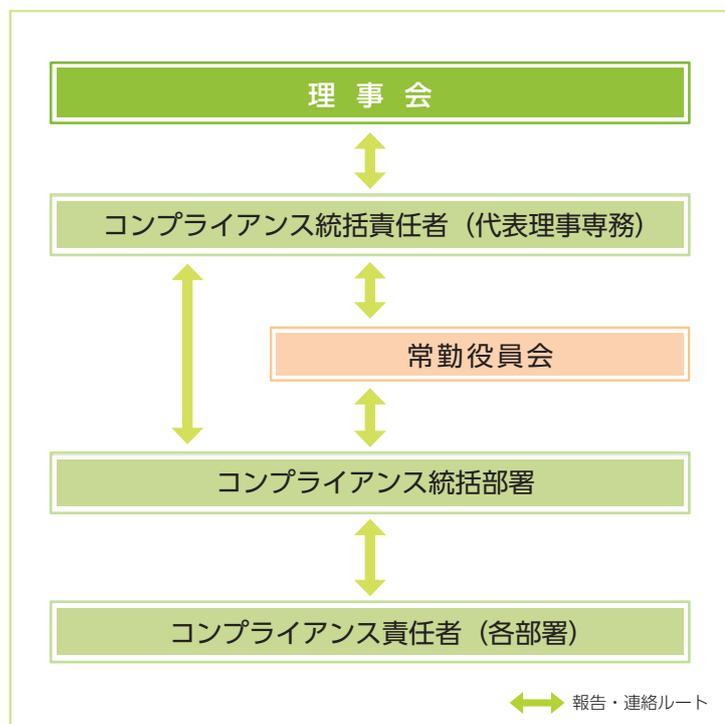
### ■ コンプライアンスの取り組み

コープ共済連では、厚生労働省の「共済事業向けの総合的な監督指針」に沿って、コンプライアンス推進態勢の整備方針を決め、「コンプライアンス規程」の策定をはじめ、各種規程、基準、マニュアル等の整備をすすめてきました。コンプライアンス活動方針およびコンプライアンス・プログラムを組織全体の年度方針・事業計画と一体的に策定し、コンプライアンス推進態勢を整備しています。会員生協での適切な共済推進をはかるため、法令や各種自主規範・倫理遵守のための学習資料として「コンプライアンス・ガイドブック」を発行し、研修会等で理解の促進・徹底をはかっています。また、違法行為等の通報先として内部および外部の「コンプライアンス相談窓口」を設け、周知に努めています。

### ■ コンプライアンス推進態勢

コンプライアンス推進のための態勢として、コンプライアンス統括責任者（代表理事専務）がコンプライアンス全般にかかわる事項を統括し、各施策の推進・運営の責務を担うとともに、常勤役員会にてコンプライアンス態勢の整備・監督を行っています。また、コンプライアンスに関する事項を一元的に管理するために、コンプライアンス統括部署を設置しています。

各部にコンプライアンス責任者（部長）を配置し、日常業務のなかでコンプライアンスの推進に取り組んでいます。





## ■ 反社会的勢力への対応方針について

コープ共済連では、共済事業団体としての社会的責任および被害防止の観点から、反社会的勢力との関係を遮断することの重要性を認識し、「反社会的勢力への対応方針」を定めています。

反社会的勢力に対しては、①組織としての対応、②外部専門機関との連携、③取引を含めた一切の関係遮断、④有事における民事および刑事の法的対応、⑤裏取引や資金提供の禁止を基本方針とし、毅然とした姿勢で臨みます。なお、2014年9月から、各共済事業規約に反社会的勢力排除条項を導入し、共済契約からの反社会的勢力の排除に努めています。

### 反社会的勢力への対応方針

日本コープ共済生活協同組合連合会は、暴力と詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する集団又は個人(以下、反社会的勢力といいます)による被害を防止し、業務の適切性・健全性を確保するために、以下の基本方針を定めます。

#### ① 組織としての対応

反社会的勢力による不当要求に対しては、組織全体として対応するとともに、対応する役職員の安全確保に努めます。

#### ② 外部専門機関との連携

反社会的勢力による被害を防止するために、警察、弁護士等の外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。

#### ③ 取引を含めた一切の関係遮断

反社会的勢力とは、取引を含めた一切の関係を遮断します。

#### ④ 有事における民事および刑事の法的対応

反社会的勢力による不当要求には一切応じず、毅然として民事上および刑事上の法的対応を行います。

#### ⑤ 裏取引や資金提供の禁止

反社会的勢力への資金提供や裏取引は一切行いません。

2011年11月制定

## ■ 個人情報保護の取り組み

個人情報保護の取り組みとして、「個人情報保護方針」を定め、個人情報保護管理者を中心とする個人情報保護体制を構築し、個人情報の適切な管理を行うとともに、個人情報保護に関わるリスクを分析し事故防止の取り組みを行っています。なお、「個人情報保護方針」の詳細は、CO・OP共済オフィシャルホームページをご参照ください。



CO・OP共済オフィシャルホームページ <http://coopkyosai.coop/privacy/>

● 日本コープ共済生活協同組合連合会 個人情報保護方針

## 4

## CO・OP共済の推進に携わる職員への教育研修

CO・OP共済の推進に携わる職員を対象に共済募集人の資格認定制度を設けています。この認定制度は、(社)日本共済協会に加盟している共済団体で組織する共済生協懇談会において取りまとめた「適正な共済推進を確保するための実施基準」に照らして、契約者保護を強化することを目的に実施しているものです。

2017年度に、職員一人ひとりの役割や習熟度に応じて「教育・学習」を積み重ねて、ステップアップすることを旨とし、(1)CO・OP共済募集人資格制度を2資格に統合し、(2)ステージ制度を新設し、3年が経過しました。

ステージ制度における認定者は特級929(511)人、上級1,816(786)人、中級5,839(2,723)人の計8,584人となっています(2020年3月20日現在 括弧内は一斉登録者数)。

また、各会員生協では「教育・学習」の主體的な担い手として、CO・OP共済が好きな職員の育成を進めています。特にマネジメント層、専門のフォロー体制の職員への教育・学習の支援強化が望まれており、コープ共済連では会員生協と一体となった「教育・学習」をすすめています。

## (1) 共済募集人資格認定制度の概要と資格認定者数(2020年3月20日現在)

研修名	概要	資格認定者数
基礎必修研修	共済推進上の基本事項・禁止事項、《たすけあい》《あいがらす》《ずっとあい》の商品内容、加入実務・支払実務について学びます。	38,883人
トレーナー養成研修	基礎必修研修を実施する講師となる「トレーナー」を養成するためのプログラムです。	5,185人
合計		44,068人

※資格の認定：基礎必修研修修了者＝基礎資格

トレーナー養成研修修了者＝トレーナー資格

※資格認定者数には、コープ共済連職員も含まれます。

※資格認定者は、資格取得年度の翌年度から毎年「フォローアップ研修」を受講します。

※資格認定者は、「フォローアップ研修」とは別に毎年「コンプライアンス研修」を受講します。

ただし、下半期に取得した者は、当該年度のコンプライアンス研修は資格取得時の研修で受講したものとみなし、受講対象外とします。

## (2) ステージ制度の概要(2020年3月20日現在)

ステージ	認定要件と概要	認定者数
特級ステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上級ステージの取得+LPA資格(AFP、FP技能士2級以上を含む)の取得(既に取得済みの場合も含まれます)*。</li> <li>●LPA等のより専門的な知識を身につけ、提案ができる知識レベルと位置づけられます。</li> </ul>	929人
上級ステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中級ステージの取得+保障提案研修の内容を理解しているレベル。</li> <li>●一般的な保障提案について学び、推進に生かすことができる知識レベルと位置づけられます。</li> </ul>	1,816人
中級ステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パンフレット研修、加入申込書受付研修の内容を理解しているレベル。</li> <li>●CO・OP共済の商品内容や推進方法ならびに受付ができる知識レベルと位置づけられます。</li> </ul>	5,839人

\*AFP、FP技能士2級以上を取得された方については、LPA基礎講座の受講(無料)・レポート提出によりLPA資格の取得が可能となります。

※中級および上級ステージは各認定試験の合格をもってステージの取得となります。

※特級ステージについては、上級ステージを取得し、かつLPA資格またはAFP・FP技能士2級以上の資格を取得している場合に認定します(認定試験はありません)。

※ステージについては募集人資格(基礎、トレーナー)によらず、全募集人が取得できます。

1

## CO・OP共済オフィシャルホームページでご利用いただけるサービス

CO・OP共済では、組合員や利用者の皆さまが自身のご都合にあわせて、お問い合わせや相談ができるようにサポートしています。

The screenshot shows the CO-OP Mutual Insurance website homepage. Key features and callouts include:

- Navigation:** Top bar with links for 'お問い合わせ窓口一覧', 'よくあるご質問', '用語解説', 'サイトマップ', '文字サイズ', '普通', '大きい'.
- Service Icons:** '加入をご検討の方', 'はじめての方', 'CO-OP共済', 'ご契約者の方', 'CO-OP共済のご案内'.
- Important Notice:** '重要なお知らせ' section with a date of 2020年02月19日.
- Customer Satisfaction:** 'お客様満足度 第1位' award banner for 2019.
- Navigation Menu:**
  - 加入をご検討の方:** Includes 'どんな保障が必要なの?', '掛金シミュレーション', '商品ラインナップから選ぶ'.
  - ご契約者の方:** Includes '割戻金について', '年末調整・控除証明書について', '共済マイページ', 'ログイン', '共済金のご請求', '各種お手続き', 'よくあるご質問'.
- Callouts:**
  - Red box: '資料請求はこちら' (Request for information here).
  - Red box: 'インターネットでの加入手続きはこちら' (Online application process here).
  - Blue box: '共済マイページ' (Mutual Insurance My Page) with reference to page P.39.

## インターネットでのCO・OP共済加入手続き

The screenshot shows the 'インターネット申し込みのメリット' (Benefits of online application) page. Key points include:

- 24時間365日:** 'ネットだからいつでも申し込み可能' (Possible to apply anytime because of the net).
- ネット申し込みなら:** '保険開始までの期間が大幅に短縮!' (The period from application to insurance start is significantly shortened!).
- 24時間365日:** 'いつでもお申し込み可能' (Possible to apply anytime).
- 24時間365日:** 'いつでもお申し込み可能' (Possible to apply anytime).
- 24時間365日:** 'いつでもお申し込み可能' (Possible to apply anytime).

※一部手続きできない生協もあります。

## 掛金シミュレーション

The screenshot shows the 'オススメプランシミュレーション' (Recommended Plan Simulation) page. Key details include:

- プラン内容:** 加入日額 10,000円, 病気死亡 400万円, 事故死亡 500万円, 月々の合計掛金 6,130円.
- プラン名:** 15000円コース.
- プラン内容:** 生命保障 500万円, 入院保障 付かない, がん保障 100万円.
- プラン内容:** がん保障 100万円, 入院保障 100万円.
- プラン内容:** がん保障 100万円, 入院保障 100万円.

## 2

### 共済マイページ

CO・OP共済では、「共済マイページ」を利用して、パソコン・スマートフォンから、《あいびらす》割戻金のご請求、住所変更などのお手続きや契約内容の照会を行うことができます。

こんな時にご利用いただけます！

#### ケガ通院共済金の 請求書類申請



#### CO・OP共済 あいびらす 割戻金のご請求



#### 住所変更



- ※その他、「控除証明書（共済掛金払込証明書）の再発行」「掛金振替口座の変更」「契約者変更（承継）の書類申請」「氏名の変更」「死亡共済金受取人の指定・変更」「指定代理請求人の指定・変更」のお手続きと、契約内容・保障内容の確認が可能です。
- ※《あいあい》《新あいあい》《火災共済》はご利用対象外です。
- ※CO・OP共済商品により可能なお手続きが異なります。また、契約状況・時期によってお取扱いできない場合がございます。
- ※ご利用いただけるのは契約者の方です。

## 3

### 会員支援システム（タブレット型PCで利用可能な共済推進ツール）の活用

コープ共済連は、2016年度に会員支援システム（タブレット型PCで利用可能な共済推進ツール）を開発し、段階的に全国展開しています。

CO・OP共済の推進に携わる生協職員が、タブレット型PCを使用し、CO・OP共済の加入情報や保障内容を分かりやすくご説明しています。また、タブレット型PC上でCO・OP共済に加入いただけるほか、CO・OP共済に加入されていない方のご加入の場面やご加入されている方の保障内容見直しの場面でも、お役立ちしています。

今後も、組合員のご要望により一層お応えできるよう、システム開発をすすめ、全国の生協職員への普及に努めます。



## 4

### 様々な方法で情報発信を行っています

コープ共済連では、様々なツールやコンテンツを使い、情報発信やサポートを行っています。

#### ① 加入者へのご案内・サポート

##### ◆コープ共済センター LINE公式アカウント

コープ共済センター LINE公式アカウントを利用し、24時間いつでもCO・OP共済に関するお問い合わせができます。ご登録の上、ご質問いただくと、回答が表示されます。ご解決いただけなかった場合は有人対応でのチャットに切り替えも可能です。

※有人対応でのチャットは日曜と年末年始を除く9時～18時までご利用いただけます。



友だち追加は  
こちらから!!



##### ◆よくあるご質問

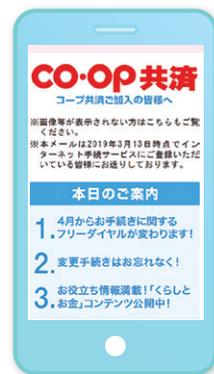
CO・OP共済オフィシャルホームページのスマートフォンサイトから「よくあるご質問」をスムーズにご利用いただくことができます。ご質問内容によっては、お問い合わせのためのお電話をいただくことなく、いつでもご自身で解決できます。

##### ◆Uni-voice

70歳以上の契約者に対して送付する「ご契約内容のお知らせ」において、「Uni-Voice (ユニボイス)」を導入しました。アプリで二次元コードを読み取ると、テキスト表示や音声の読み上げができ、視覚での契約の判別が困難な場合でも、契約内容を的確に確認できるようになりました。

##### ◆メール配信

「共済マイページ」にご登録いただいている方へ向けて、お手続きに関してのお知らせや、CO・OP共済に関する耳より情報を、メールでお届けしています。



## ② 皆様への情報発信

### ◆CO・OP共済 LINE公式アカウント

CO・OP共済の商品紹介やキャンペーン情報のお知らせのほか、期間限定でコーすけスタンプを配布しています。

※CO・OP共済のお手続きに関してご案内している「コープ共済センター LINE公式アカウント」と、CO・OP共済全般についてご案内している「CO・OP共済 LINE公式アカウント」は、それぞれ別のアカウントです。

おつかれさま



友だち追加はこちらから!!

### ◆mamaomoi (ママオモイ)

子育て世代を応援するとともに、CO・OP共済の認知度向上をはかることを目的に、子育てに関する有益な情報を幅広く提供するWebサイト“mamaomoi”を2017年から開設しています。このサイトでは、子育てに関する情報を「知る」「学ぶ」「遊ぶ」「使う」の5つのカテゴリーに分けて幅広く提供しています。



ママオモイホームページ

<https://mamaomoi.coopkyosai.coop>



### ◆Instagram、Facebook公式アカウント

InstagramやFacebookを通じ、閲覧者に楽しんでいただける情報を発信しています。



1 CO・OP共済とは

2 2019年度のトピックス

3 2019年度の事業と経営の概況

4 CO・OP共済商品の紹介

5 CO・OP共済のご加入とお支払い

6 組合員の声にひとつづつ事業運営

7 リスンプラ管理・の取り組み・アンズ

8 組合員・利用者へのサポート

9 社会的取り組み

10 COOP共済連のおよび子会社組織概要

## 1

## コープSDGs行動宣言について

日本生協連は、2018年6月の第68回日本生協連通常総会にて「コープSDGs行動宣言」を採択しました。2015年に国連で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す「持続可能な開発目標 (SDGs)」に、生協が7つの取り組みを通じてその実現に貢献することを約束する行動宣言です。コープ共済連も、様々な社会的取り組みを通じ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

## ■ 持続可能な開発目標



## ■ コープSDGs行動宣言

## ■ 私たち生協は、SDGs (持続可能な開発目標) に貢献することを約束 (コミット) します

私たちは、「生協の21世紀理念 (1997年総会決定)」のもと、助け合いの組織として、誰もが笑顔でくらすことができ、持続可能な社会の実現をめざし、様々な取り組みを進めてきました。誰も取り残さないというSDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。私たちは、あらためて持続可能な社会の実現に向けて取り組むことを、「SDGs行動宣言」としてまとめました。私たちは、以下の7つの取り組みを通じて、世界の人々とともにSDGsを実現していきます。

## ■ 世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

私たちは、誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を貫き、ユニセフ募金などに取り組み、世界の子どもたちを支援します。「貧困」の連鎖をなくしていくために、子どもの貧困について学び、話し合う活動を広げ、子ども食堂やフードバンク・フードドライブなどの取り組みを進めます。

## 《関連するSDGsの主たる目標》



## 《関連するSDGsの目標》



## ■ 誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します

私たちは、誰一人取り残さず、安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します。自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、地域の見守り、移動販売や配食事業など、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域における役割発揮を進めます。

## 《関連するSDGsの主たる目標》



## 《関連するSDGsの目標》



■ 持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます

私たちは、「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、持続可能な社会づくりをめざします。国内外の人々、そして限りある地球資源へ思いを寄せ、商品の開発と供給を進めます。学習活動を通じて、エシカル消費や持続可能な社会に関する理解を促進し、私たち自らの消費行動やくらしのあり方を見直していきます。

《関連するSDGsの主たる目標》



《関連するSDGsの目標》



■ 健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます

私たちは、食生活、運動、社会参加の視点から健康づくりを進めます。安全・安心はもとより、より健康な食生活に向けた商品事業と組合員活動を推進します。生活習慣病や介護予防など「予防」を重視し、福祉事業や助け合い活動を広げ、自治体や諸団体と連携し、地域包括ケアシステムのネットワークに参画します。

《関連するSDGsの主たる目標》



《関連するSDGsの目標》



■ 核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します

私たちは、「核なき世界」の実現のために、世界の人々と手を携えて、核兵器を廃絶し、平和な社会をめざす取り組みを進めます。私たちは、次の世代に被爆・戦争体験を継承し、日本国憲法の基本原則である平和主義のもと世界平和の実現に積極的に貢献します。

《関連するSDGsの主たる目標》



《関連するSDGsの目標》



■ 地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します

私たちは、地球の持続可能性を揺るがす気候変動の脅威に対して、意欲的な温室効果ガス削減目標（2030年環境目標）を掲げ、省エネルギーと再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組みます。再生可能エネルギーの電源開発や家庭用電気小売を広げ、原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換をめざします。

《関連するSDGsの主たる目標》



■ ジェンダー平等（男女平等）と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します

私たちは、地域における活動を通じて、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現に貢献します。女性も男性も、誰もが元気に、生きがいを持って働き続けられる生協づくりを進めます。

《関連するSDGsの主たる目標》



《関連するSDGsの目標》





## 2

## ライフプランニング活動

### ■ ライフプランニング活動とは

ライフプランや暮らしにかかわるお金について、組合員どうしの学びあいの場を提供することによって、組合員の暮らしの向上に貢献する活動です。

中心的なテーマである保障の見直しに関する学習会では、組合員が本当に必要な保障を自ら選択する力をつける手助けをしています。



### ◎ ライフプラン・アドバイザー (LPA) とは

コープ共済連の所定のライフプラン・アドバイザー養成セミナーを修了した人です。組合員のライフプランニングについてのアドバイスを行い、暮らしのお金全般についての専門知識をもち、組合員向けの保障の見直し学習会などの企画・運営および講師・インストラクターを担います。個人相談の対応を行うこともあります。

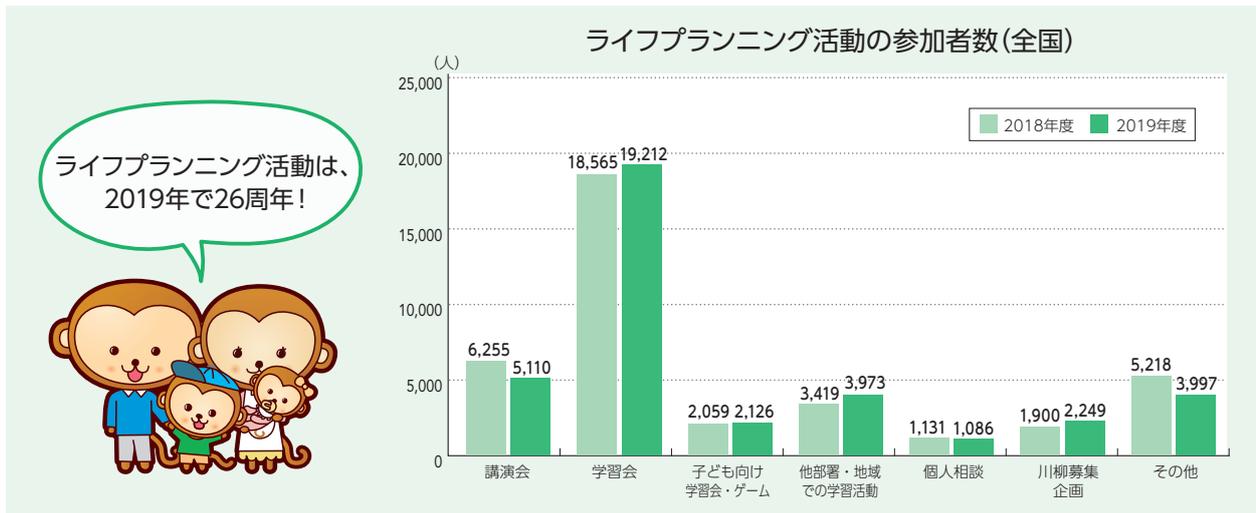


2019年度末現在でLPA養成セミナー修了者は4,508人となり、現在約1,693人が全国の生協で活躍しています。

### ◎ ライフプラン・アドバイザー (LPA) 養成セミナー

AFP認定研修の内容を基に、ライフプランニング・社会保険・生命保険に重点をおいたコープ共済連独自のセミナーです。そのため修了・合格後のLPA資格は生協のライフプランニング活動でのみ使用できる呼称です。  
※AFP認定研修とは、FPに必要な倫理・コンプライアンスとライフプランや金融、保険など6つの専門分野にわたる知識を体系的に学習できるように構成された日本FP協会認定の研修講座です。

### ◎ ライフプランニング活動の状況



ライフプランニング活動は、2019年で26周年!



### ◎ 暮らしの見直し講演会

外部から講師を招き、保険のしくみや必要な保障の選び方、社会保障制度や年金など、暮らしに役立つさまざまな知識を学ぶことを目的とした講演会です。2019年度は全国で120会場5,110人の参加がありました。また、2012年度に日本赤十字社とのタイアップでスタートした、こどもの病気・救急や災害時高齢者・乳幼児支援の学習プログラムも引き続き好評で、多くの参加がありました。



## ◎ 学習会

保障や年金など、暮らしのお金についてより深く学びたいという声に応え、LPAが講師をつとめる学習会を行っています。テーマの範囲を絞り、少人数で開催するため、質問などがしやすいとの好評価を受けています。一定の参加者が集まれば“出前学習会”をしている生協もあります。

2019年度は、子ども向けも含めて1,675会場で実施、のべ21,338人の参加がありました。



学習会の様子

## ◎ 子ども向け学習会

「おこづかいゲーム」や「親子マネー教室」などを通して、子どもの金銭教育にも取り組んでいます。



子ども向け学習会の様子

## ◎ 個人相談

講演会や学習会では対応できない、組合員一人ひとりの要望に沿った相談を受ける「個人相談」の活動も行っています。2019年度は、のべ1,086人からの相談がありました。

## ◎ ライフプランニング川柳

全国の組合員の方にライフプランニング活動を知っていただくことや、ライフプランを考えるためのきっかけとして、2008年度から毎年テーマを変えて川柳の募集企画を実施しています。

一お題(2018年度)  
「わが家の家計」  
「自由部門(特にテーマを設けない)」

## ◎ LPA同士の交流と学びあい

ライフプランニング活動に関わる方の交流とスキルアップを目的に交流会や研修会が全国で開催されています。他の生協を訪問して活動を見学することもあります。

## ◎ ライフプランニング活動の学習会資料

LPAが講師となって開催する学習会の資料を用意しています。

### ■ 組合員の学習に役立つ資料

- ・「わが家のライフプランノート」(保障編、資金計画編、データ集)
- ・社会保障や税金など6単元からなる「ライフプラン講座テキスト」
- ・ライフプランニングの入門編冊子  
「かしこい暮らしの見直しハンドブック」
- ・医療費に関する学習資料「知っておきたい! 医療費のこと」
- ・乳がんに関する学習資料「乳がん早期発見のために」
- ・「子どもの事故予防」に関する学習資料 等

### ■ LPAの知識のブラッシュアップ資料

- ・「税制」「社会保障制度」の改正資料 等

優秀賞

今年こそ車検に出したい 火の車

ペンネーム…声大納言さん(こうち生協)

優秀賞

妻の手も財布の紐もにぎれない

ペンネーム…さつちゃんさん(コープかがわ)

大賞

いま火計 いつか家計を 筆計簿に

ペンネーム…赤い家計簿さん(こうち生協)

大賞

すすすくと 伸び行く食費 教育賞

ペンネーム…だんごの申さん(東都生協)

**ライフプランニング川柳**

2018年度 全国優秀賞

※本来は大賞1句、優秀賞2句ですが、得票同数であったため、大賞2句としています。



1	CO・OP共済とは
2	2019年度のトピックス
3	2019年度の事業と経営の概況
4	CO・OP共済商品の紹介
5	CO・OP共済のご加入とお支払い
6	組合員の声にもとづく事業運営
7	リスク管理・コンプライアンスの取り組み
8	組合員・利用者へのサポート
9	社会的取り組み
10	コープ共済連のおよび子会社組織概要

## ◎ ライフプランニング活動のめざすもの

コープ共済連では、2010年3月に「ライフプランニング活動のめざすもの」および「ライフプラン・アドバイザー（LPA）の役割」を策定しました。

### ライフプランニング活動のめざすもの

私たちは、ライフプランや暮らしにかかわるお金について、組合員どうしの学びあいの場を提供することによって、組合員の暮らしの向上に貢献します。またこの活動を広げることで、生協やCO・OP共済の信頼構築と発展に寄与します。

#### 1 組合員の経済的、精神的な暮らしの向上に貢献します。

- (1) ライフプランニングの大切さを伝え、組合員の知識や判断力の向上をすすめ夢の実現を応援します。
- (2) 生協のあらゆる場を通じて様々な手段で学習の機会、情報などを提供し、組合員どうしの学び合いをすすめます。
- (3) 活動を広げるライフプラン・アドバイザーを組合員・職員ともに積極的に養成します。
- (4) 金融情勢の変化や社会保障・税制の改正等に対応し、幅広いテーマの活動に取り組み、組合員のニーズに合わせた情報提供を行います。

#### 2 生協の事業や活動の周知を促し生協の発展に貢献します。

- (1) ライフプランや保障などの学習を通して、生協の事業や活動の発展に貢献します。
- (2) 生協の事業活動やその他の活動とも連携し、組合員どうしの協同の力をはぐくみます。

#### 3 生協の地域をつなぐかけ橋として社会に貢献できる活動を行います。

- (1) 地域、学校等と一緒に学習活動を進め、くらしやすい地域社会づくりに寄与します。
- (2) 子ども、高齢者などに対してわかりやすく情報提供を行い、くらしの向上を応援します。

#### 4 コープ共済の社会的信頼の向上に寄与します。

- (1) CO・OP共済の加入者向けに、くらしの向上につながる学習の機会や情報を提供します。
- (2) CO・OP共済をお勧めする職員に対し、組合員のくらしに合わせた保障設計、ライフプラン設計等に関する学習支援を行います。

### ライフプラン・アドバイザー（LPA）の役割

私たちは、組合員にライフプランニングの大切さを伝え、一人ひとりが自分の人生をデザインできるようにお手伝いします。

- 1 組合員が保障や資金計画、さまざまなくらしのサービスについて気軽に相談できる身近な窓口をめざします。
- 2 ひとりの生活者として組合員の立場に沿ったアドバイスを心がけます。
- 3 正確な情報を伝えるために常に幅広いテーマについて学び続けます。
- 4 コンプライアンスに取り組み、社会的信頼を高めます。
- 5 活動を通して生協の意義を伝え、生協の発展に寄与します。
- 6 安心してらせる地域づくりをめざし、広く情報を伝えます。
- 7 学びあう仲間を増やしながら、いきいきと活動を続けます。

※LPAで取り組むコンプライアンスの主な点は、個人情報の保護と著作権法遵守です。

関連するSDGsの目標



### 3 災害時の対応

CO・OP共済《たすけあい》には、住宅災害の保障があり（ジュニア20コースを除く）、台風や水害等で加入者が居住する住宅に被害を受けた場合、住宅災害共済金をお支払いしています。

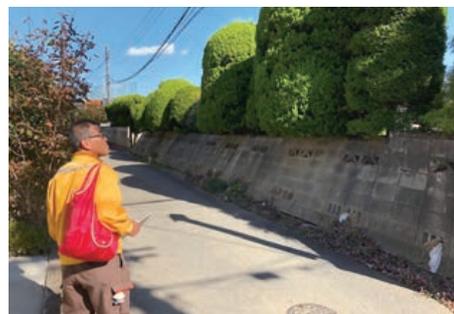
《あいがらす》、《ずっとあい》には住宅災害の保障はなく、《たすけあい》の住宅災害共済金では地震・噴火・津波による被害は支払対象外ですが、地震・噴火・津波により加入者が居住する住宅に被害を受けた場合、「異常災害見舞金規則」にもとづき、CO・OP共済《たすけあい》、《あいがらす》、《ずっとあい》の加入世帯に対し、「見舞金」をお支払いしています。この見舞金制度は、被災された加入者の方にわずかでもお見舞いの気持ちを伝える趣旨で設けられました。

また、全国の生協とコープ共済連は、地震、津波、台風や水害等の甚大な災害が起きた際は、共済契約者の方々の早期復興のお役に立てるよう、共済契約者のお宅や避難所を訪ね、共済金請求手続きの案内や請求受付を行う、共済契約者訪問活動を実施しています。

#### ■ 2019年台風15号および台風19号の際の被災地訪問の様子と組合員からの声



《たすけあい》に住宅災害共済金がついているとは知りませんでした。災害後コープの方が訪問していただき、書類を置いていってくださいました。知らぬは契約のしおりに読んでいない方が悪いというのではなく、一件一件回り説明していただきびっくりしました。とてつもない労力であったのではないのでしょうか。思ってもいなかった共済金もいただけ助かります。ほんとうにありがとうございました。信頼感がとてつもなく上がりました。



台風15号の被災でお世話になりました。ガレキの片付けをしているさなか、自転車で2人組の生協職員の方が、各組合員の自宅をまわってきてくださり、はげましの言葉、応援そして住宅災害共済金の手続きを迅速に行ってください、とても助かりました。元の生活に戻るための資金として、活用させていただきます。ありがとうございました。

#### ■ 異常災害見舞金の主な支払い実績(2011年～2020年3月20日)

2011年 3月	東日本大震災で74,072世帯に20億885万円の異常災害見舞金をお支払い。
2011年 6月	長野県中部地震で450世帯に605万円の異常災害見舞金をお支払い。
2013年 4月	淡路島地震で172世帯に296万円の異常災害見舞金をお支払い。
2014年11月	長野県神城断層地震(長野県北部地震)で62世帯に121万円の異常災害見舞金をお支払い。
2016年 4月	熊本・大分地方の地震で9,854世帯に2億3,750万円の異常災害見舞金をお支払い。
2016年10月	鳥取県中部地震で549世帯に669万円の異常災害見舞金をお支払い。
2018年 6月	大阪北部地震で2,766世帯に3,138万円の異常災害見舞金をお支払い。
2018年 9月	北海道胆振東部地震で1,059世帯に1,783万円の異常災害見舞金をお支払い。

※記載の年月は災害発生時を表しています。

## 4 地域ささえあい助成



生協は、くらしを向上させることを目的に事業を進めていますが、地域社会全体に目を向け、他団体・行政とも一緒になって活動しなければ、昨今のくらしの困難さは解決できない状況になってきています。そのため、コープ共済連は、2012年度から社会貢献活動として「地域ささえあい助成」を開始しました。本助成では、生協と他団体がネットワークを形成しながら問題を解決していく活動を支援しています。

助成する活動のテーマと過去5年の実績は以下のとおりです。2019年度は審査の結果、44団体に、2千4百万円を助成しました。

### [過去5年の助成実績]

テーマ	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
	件数	件数	件数	件数	件数
	決定金額(円)	決定金額(円)	決定金額(円)	決定金額(円)	決定金額(円)
① くらしを守り、くらしの困りごとの解決に資する	11	13	16	19	21
	6,772,796	7,343,050	8,953,360	10,987,842	12,011,555
② 命を守り、その人らしい生き方ができるようにする	10	10	10	6	11
	5,349,240	5,802,998	6,247,140	2,289,408	5,601,610
③ 女性と子どもが生き生きする	14	15	16	19	12
	6,596,300	9,705,380	9,729,450	7,926,056	6,998,988
合計	35	38	42	44	44
	18,718,336	22,851,428	24,929,950	21,203,306	24,612,153

## ■ 団体交流会

団体交流会は、助成団体がさらに発展した取り組みができるよう、活動の事例報告や意見交換を行う場として活用いただくことを目的として、2016年度から年に1回、東日本エリア・西日本エリアの2会場で開催しています。

2019年度は4回目となる団体交流会を実施し、地域と生協の協同をテーマに、講演や助成団体による活動報告、参加者による意見交換等を行いました。



2019年度団体交流会の様子(東日本エリア)



2019年度団体交流会の様子(西日本エリア)

## 2019年度「地域ささえあい助成」助成団体の活動トピックス

### テーマ1 ▶ くらしを守り、くらしの困りごとの解決に資する

- ▶ 団体名：社会福祉法人 いぶき福祉会
- ▶ 協同した団体：生活協同組合コープぎふ
- ▶ 活動名：新しい協働ステーションにおけるコミュニティガーデンづくり

社会福祉法人いぶき福祉会は、障害のある人の就労支援・日中活動支援や生活支援を中心とした事業を行っています。今回の活動では、いぶき福祉会事業所の敷地に、組合員、施設利用者、近隣小学校、地域住民などと一緒に、花壇をつくり世話をする取り組み（コミュニティガーデンづくり）を行いました。コミュニティガーデンづくりの専門家を招き、花壇（コミュニティガーデン）のコンセプト決めを行う「学習会」や具体的にどんな花壇にするかのワークショップなどを実施、秋に本格的な花壇づくりと懇談会を行いました。全体を通じて、いぶき福祉会、コープぎふ、地域の方々や子どもなどの参加があり、ガーデンを中心として、施設の利用者と地域住民の交流がすすみました。



### テーマ2 ▶ 命を守り、その人らしい生き方ができるようにする

- ▶ 団体名：一般社団法人 やまなし空と風 -Discovery Of Life-
- ▶ 協同した団体：生活協同組合ユーコープやまなし県本部／一般社団法人国際未来学校／医療法人社団家族の森
- ▶ 活動名：ほくと Proof of Life プロジェクト（人それぞれの生きる証をみつける活動）

一般社団法人やまなし空と風-Discovery Of Life- は、高齢化が進む山梨県北杜市で、地域住民を対象に毎月1回の「健康よろずカフェ」を開催しています。県民性・地域性を熟知している地元生協だからこそそのアドバイスを、プログラムに活かしながら活動をすすめました。また、毎回障がいがある子どもたちを招き、カフェの手伝いをしてもらいました。子どもたちに対してのソーシャルスキルトレーニング、参加者にとっては障がいに対する誤解・偏見の解消が進みました。企画の手伝いをしてくれた学生団体、講師の医療関係者などとの議論も進み、新しい活動に発展する動きもみられました。



### テーマ3 ▶ 女性と子どもが生き生きする

- ▶ 団体名：生活協同組合コープ自然派奈良
- ▶ 協同した団体：農民運動奈良県連絡会／橿原の学校給食を考える会／奈良市の給食のおはなし
- ▶ 活動名：きゅうしょくカンガループロジェクト（給食を考えるプロジェクト）

コープ自然派奈良の「きゅうしょくカンガループロジェクト」では、奈良県の農業振興と食育を、「給食」を核に解決していくことを目的に、農家、消費者、子どもたちなど様々な方が交流を行う様々なイベントを実施しています。「カレーライスを一から作る」プロジェクトでは、種から米・野菜・スパイスを育て、それを使ってカレーを作り、食べるころまで、親子で体験する機会をつくりました。消費者が、農家の手伝いを実施し相互交流が進んだ「田んぼの作業員」プロジェクトや、給食関係者への取材を行い、学生と協同して給食献立を考え、調理・試食を行う交流イベントも実施しました。結果的に農家、行政職員、給食関係者、料理人、学生など、様々な人の協力を得られ、それぞれの視点を生かした幅広い活動へとつながりました。





# 5

## CO・OP共済健康づくり支援企画

コープ共済連は、2017年度からCO・OP共済健康づくり支援企画を開始しました。高齢化の進むなか、元気な高齢者の活躍できる地域をつくっていくために、CO・OP共済健康づくり支援企画は、会員生協が実施する中高年層を主な対象とした健康づくりの取り組みを支援しています。



共済事業の毎年の剰余金から積み立てた加入者貢献積立金を財源に、「加入者への貢献」「共済事業への貢献」「地域社会への貢献」を目的として実施しています。「食生活」「運動」「社会参加」の3つの主要テーマのもと、他団体とも連携しながら、各会員生協が地域の実情をふまえた多様な取り組みを展開しています。

3年目となる2019年度には、新たに5生協・5件の支援を決定し、2017・2018年度に支援決定した取り組みと合わせ、47生協51件に対し168百万円の支援を行いました。

▲ウェブサイト <http://coopkyosai.coop/kenko/>

### 2019年度「CO・OP共済健康づくり支援企画」の取り組み支援事例

#### 食生活

##### 1 健康チャレンジ

- ▶青森・茨城・群馬・神奈川の各生協、よつ葉生協、コープにいがた、コープながの、わかやま市民生協、おかやまコープ、日立造船因島生協、コープやまぐち

各県の地域生協が医療生協や県生協連と協力しながら、健康チャレンジを軸に、関連する取り組みを展開しています。健康チャレンジとは、参加者が「食生活」「運動」「禁煙」等のコースから選んで生活習慣目標を設定し、継続的にチャレンジする取り組みです。

##### 2 食習慣チェック

- ▶ユーコープ、コープいしかわ、コープあいち、コープこうべ、おかやまコープ

東京大学大学院医学系研究科佐々木研究室の開発した「食習慣調査BDHQ」を、全国での活用に向けてユーコープ、コープあいち、コープこうべが日本生協連とともにシステム化しました。これを使った学習会を軸に、各生協が食生活改善の講演会や料理教室、健康チェックやリーダー育成を展開しています。

##### 【事例①】 ユーコープ「はじめよう！つづけよう！ 「食DE健康」（私の健康、食習慣チェック活動）」

「健康と食生活」をテーマに組合員の健康づくりを応援する取り組みを実施しています。具体的には、BDHQを活用した学習会、ヘルシー料理講習会、健康と食生活に関する講演会の実施など、各地域の組合員活動と店舗・宅配・共済事業が連携し、様々な企画を開催しています。また、機関紙やWebサイトを通じ、健康チェックや、健康的な食生活に関する情報も発信しています。



ユーコープ「はじめよう！つづけよう！「食DE健康」（私の健康、食習慣チェック活動）」

##### 3 食生活学習会

- ▶生活クラブ共済連

中高齢者向けの食生活や健康に関してまとめたテキスト、自己チェックシート等をもとに、各地域の生協で学習会を継続的に実施しています。

##### 4 出前型栄養教室

- ▶コープしが

健康づくりの取り組み専用のキッチンカーを開発し、高齢者が集まる地域に向向って出前型栄養教室を実施しています。このほか、ウォーキング企画による運動の取り組みも展開しています。

## 運動

### 5 運動教室

#### ▶ コープさっぽろ、いわて生協、みやぎ生協・コープふくしま、エフコープ

中高年層向けの認知症・介護予防等を目的とした運動教室を展開しています。具体的には、自治体から委託を受けNPO・大学と協同で実施している認知症・介護予防の運動教室、高齢者や子育て世帯を対象としたスポーツインストラクターによる運動教室等を実施しました。

#### [事例②] みやぎ生協・コープふくしま 「いきいき」健康フィットネス」

食生活の見直しや運動を通じ、元気な高齢者が増えることを目標に、店舗集会室等で中高齢者を対象とした「運動教室」を開催しています。ヨガやピラティスに加え、体組成計による測定や健康に役立つ講座も実施。これらの取り組みを通じ、CO・OP共済の認知度が向上し、加入の輪が広がっています。



みやぎ生協・コープふくしま「いきいき」健康フィットネス」

### 6 ウォーキング企画

#### ▶ エフコープ

自治体やラジオ局・新聞社とともに、複数地域でウォーキング大会を開催しています。ウォーキングコースを整備し、健康づくりステーションを設置するとともに、歩き方に関するラジオ講座を開講する等の取り組みを実施しました。

## 社会参加

### 7 集いの場・学びの場づくり

#### ▶ コープあきた、パルシステム千葉、パルシステム東京、 グリーンコープ生協ふくおか、コープおきなわ、 福井県民生協、大阪いずみ市民生協、生協ひろしま

中高年層向けの集いの場・学びの場づくりを、他団体と連携しながら、健康づくりに特化したかたちで開設・開催しています。具体的には、店舗の一部で食生活改善の学習会や認知症・介護予防の体操教室、毎週様々な講座を開催して生きがいづくりや資格取得を目指す取り組み等を実施しました。



コープおきなわ「いきいき健康サロン」の開設と地域との協同ですすめる健康づくり

### 8 健康大学

#### ▶ コープぎふ、京都生協、ならコープ

地域の大学と連携し、年数回、健康づくりをテーマに学びのイベントを開催しています。具体的には、食生活や生活習慣の改善、認知症や各種疾病の予防をめざす学習会・運動教室等を実施しました。

## その他 「食生活」「運動」「社会参加」を複合的に実施する取り組み

### 9 健康チェック

#### ▶ 神奈川県の各生協、パルシステム山梨、生協くまもと、コープみやぎ

医療生協と協力しながら、店舗や集いの場、イベント会場などで、血圧や体脂肪、骨密度、体組成などを測定し、専門家がアドバイスする取り組みです。目標を設定し、毎回の結果を記録し、継続的な取り組みになるよう工夫しています。関連する学習会やサポーター養成も実施しています。

### 10 総合的な取り組み

#### ▶ コープかごしま

医療生協・大学・行政と連携し、食生活、運動に関する学習会を展開しています。また、組合員を対象とした認知症セルフチェックや生活支援ヒント集の発行を行っています。

関連するSDGsの目標

3 3



6

## 健康増進に関わる活動

生協の活動において、人々の健康と福祉の向上は基本的な課題です。CO・OP共済では、組合員や加入者の健康増進をお手伝いする立場で、生協の店舗への全自動血圧計の設置や電話による無料健康相談の提供を行っています。

### ■全自動血圧計の設置

全国の生協の店舗を中心に、計366台の全自動血圧計が設置されています。

日々の血圧の変化に気を配ることは、生活習慣病の予防に効果的であると言われています。店舗でのお買い物の際、気軽に測定できることから、組合員の健康管理に役立てられています。

### ■CO・OP共済健康ダイヤル

CO・OP共済(《たすけあい》《あいがらす》《ずっとあい》《新あいあい》)の加入者が無料で利用できる電話相談窓口です。2019年度の相談件数は40,762件でした。医療専門のスタッフ(看護師等)が健康、医療、介護、メンタルヘルスのアドバイスや医療機関のご案内等行っています。  
(委託：東京海上日動メディカルサービス株式会社)



関連するSDGsの目標

11 11



7

## ランドセルカバー寄贈

コープ共済連は社会貢献活動の一貫として、全国の自治体と連携して、2015年度から全国の新一年生に向け、ランドセルカバーの寄贈を行っています。

2019年度は、全国の小学校新一年生にランドセルカバーを寄贈しました(全国5,858校、30万1,669枚)。なお、ランリュック等使用の小学校には、ランドセルカバーの代わりに連絡帳袋を寄贈しました(全国1,519校、12万8,721枚)。

CO・OP共済のキャラクター“コーすけ”のイラストが描かれた黄色地のカバーは、周囲の目を引き、遠くからでも児童の存在をアピールすることができます。地域の方々が見守っていただくための目印ともなり、交通事故防止に役立っています。



沼津市役所主催の贈呈式の様子



鹿屋市のキャラクターとコラボレーションしたランドセルカバー

関連するSDGsの目標

7 7



12 12



8

## 環境課題に関する取り組み

コープ共済連は2009年3月の事業開始以降、ISO14001規格の外部認証を取得し、環境マネジメントシステム(EMS)を構築・運用してきましたが、2016年度からはコープ共済連の事業特性と規模に応じたEMSの自主的な運営に移行しました。

### ■自主運営の柱は「環境方針」

コープ共済連の設立当初から、次の「環境方針」を掲げ、環境課題に取り組んできました。引き続き、この「環境方針」を軸として、活動していきます。

## コープ共済連環境方針

### 理念

日本コープ共済生活協同組合連合会は、「自立した市民の協同の力で、人間らしい暮らしを創造し、持続可能な社会を実現する」という21世紀の生協の理念に基づいて、環境問題を生協運動の根源的課題として位置づけ、率先して取り組みを進めます。

### 方針

日本コープ共済生活協同組合連合会は、「組合員に一番に選ばれる共済となり、組合員の『ふだんの暮らし』に貢献すること」をめざして、CO・OP共済事業を行う全国の生協の連合会として、商品の開発、加入促進、掛金の収納、共済金の支払い、加入者の相談窓口等の業務を行っています。

こうした活動による環境影響の大きな項目については、目的・目標を設定し、環境負荷の軽減と汚染の予防、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

- ①環境関連の法令、条例、受け入れを決めたその他の要求事項を遵守します。
- ②共済募集に関わる媒体や資材の管理水準を高めて廃棄を減らし、媒体や資材の削減に努めます。
- ③事務所における電気、紙の使用量の削減、排出物のリサイクルを進めます。
- ④地球温暖化防止の取り組みを始めとして、環境保全型社会構築に向けた社会的活動に広範に取り組みます。

この環境方針を内外に公開するとともに、環境活動の取り組み状況について定期的に公表します。

## ■ 2019年度の取り組みと社会的活動

### (1) 環境課題の達成状況

全体目標としては、エコオフィス課題として電気、紙の使用量の削減や排出物のリサイクルをすすめました。個別には各部署の業務特性に応じた「部署目標」を設定し取り組んだ結果、32課題中27課題を達成することができました（達成率84.4%）。

### (2) 環境講演会の開催

毎年、役職員の環境意識の向上を目的に、「環境講演会」を年1回実施しています。

2019年度は日本生協連の環境担当者による「生協のSDGsと気候変動対策の取り組み」の講演を実施しました。

本講演で、①地球温暖化と気候変動のいま ②SDGsとは何か ③SDGsの取り組み ④生協の気候変動対策について学習しました。



環境講演会の様子

### (3) 環境関連等への投資

グリーンボンド（環境課題の解決に資する事業を資金使途とする債券）への投資を2017年度から開始しています。これまでに東京都が発行する「東京グリーンボンド」や国際協力機構（JICA）のソーシャルボンド（社会的課題の解決に資する事業を資金使途とする債券）、サステナビリティボンド（環境・社会の持続可能性に貢献する事業を資金使途とする債券）に投資しています。

## ■ 2020年度の取り組み

エコオフィス課題として「紙・ゴミ・電気」の使用量の削減にコープ共済連全部署で取り組むため、各部署の具体的な環境課題を「2020年度各部事業計画書」の一項目と位置付けました。

また、日本生協連グループの「温室効果ガス削減計画」に参画し、CO<sub>2</sub>排出総量削減をすすめています。

9

障がい者スキーの支援



コープ共済連は、日本生協連、コープさっぽろとともに、2020年2月16日に行われた「さっぽろスノースポーツフェスタ2020大通公園クロスカントリースキー競技大会」において、スペシャルサポーターとして支援を行いました。当フェスタは、ウィンタースポーツの振興を目的に、大通公園では初となるクロスカントリースキー大会のほか、一般の方が参加できるウィンタースポーツ体験会等が行われました。

本大会に引き続き、コープ共済連は、日本障害者スキー連盟へのゴールドパートナーとしての包括的、継続的な支援を通じて、SDGs実現に向けた貢献を目指しています。



さっぽろスノースポーツフェスタ2020大通公園クロスカントリースキー競技大会の様子



10

国内の団体との連携

コープ共済連は、協同組合と協同・連帯し、協同組合運動を推進する取り組みを行っています。

■ JCA (日本協同組合連携機構)

2018年4月1日、「持続可能な地域のよりよい暮らし・仕事づくり」を目的として、日本の協同組合17組織が集うJJC(日本協同組合連絡協議会)が再編して誕生した組織です。協同組合間連携の推進・支援・広報、持続可能な地域のよりよい暮らし・仕事づくりに向けた教育・調査・研究を主な活動としています。コープ共済連は会員生協として、JCAの活動に積極的に参画していきます。

■ 全国労働者共済生活協同組合連合会

生協法で認可されている共済団体では最大の事業規模の団体で、コープ共済連の会員でもあります。コープ共済連は、全国労働者共済生活協同組合連合会と提携しながらCO・OP共済の充実に努めています。

■ 日本再共済生活協同組合連合会 (日本再共済連)

1987年に自動車共済連を改組し、国内唯一の「再共済事業専門団体」である日本再共済生活協同組合連合会(2006年4月、全国労働者共済生活協同組合再共済連合会から名称変更)が設立されました。再共済事業を通じて、元受共済事業の支援機能の役割を果たしています。コープ共済連は元受共済の一部について日本再共済連に出再(再共済に出すことを意味します)して、リスクの軽減に努めています。

※再共済とは、元受共済団体が引き受けた共済責任の一部または全部を再共済団体に移転するものです。再共済契約により、元受共済団体は再共済掛金を支払い、再共済団体は事故が発生した場合に再共済金を支払います。

■ 一般社団法人 日本共済協会

1992年4月、協同組合共済団体間の連携と協調を促進する場として、社団法人日本共済協会が7つの共済団体の結集のもと発足しました。2013年4月に公益法人制度改革への対応として一般社団法人に移行しました。

関連するSDGsの目標



# 11 国際団体との連携

コープ共済連は、海外の協同組合や、相互扶助を实践する組織と協同・連帯するほか、協力して開発途上国の支援も実施しています。

## ■ ICA (国際協同組合同盟)

1985年に設立された世界各国の協同組合がつくる国際組織です。世界各国に協同組合運動を広げ、協同組合の価値・原則の普及と、国際的な協同組合間協力の促進、世界の平和と安全への貢献を目的として、国際機関への提言・意思反映活動、国際会議の開催、情報発信などを行っています。参加組合員数が10億人を超える世界最大のNGO(非政府組織)です。

## ■ ICMIF (国際協同組合保険連合)

ICAの専門機関のひとつとして、協同組合保険運動の国際的な発展を支援するために設立された組織です。コープ共済連は2009年3月21日に加盟しました。

### ◆ ICMIF総会および「ヤング・リーダーズ・プログラム」への参加

ICMIFでは、2年に1度、世界各地の協同組合・相互扶助の保険組織のトップが集まり、ICMIFならではの協同と分かち合いの精神のもと、事業経営や指導上の課題や戦略、成功例に焦点を当てて考察することを目的として、ICMIF総会を開催しています。

2019年オークランド総会は、世界37か国・地域から360名、日本からは9団体34名が参加し、コープ共済連からは6名の若手職員を含む7名が参加しました。

また、2019年の総会期間中には、前回(2017年)のロンドン総会に引き続き、グローバルなレベルで協同組合保険について考え、ミレニアル世代の相互交流・育成を目的とした、「ヤング・リーダーズ・プログラム」が設けられました。組織のトップが集まる環境の中で、若手職員同士でお互いに学び、世界各地から総会に参加した会員団体の経営幹部や保険業界のリーダー、外部の有力かつ影響力を持つ方々と交流しました。



### ◆ ICMIF 5-5-5 マイクロインシュランス開発戦略への支援

ICMIFは会員団体に、5年間に5か国で5百万世帯の保険未加入の低所得家計に相互扶助の理念にもとづいたマイクロインシュランス\*の普及を目指す「5-5-5 マイクロインシュランス開発戦略」への支援を呼びかけています。コープ共済連は2018年より、インドのダーン財団への寄付を通じ、同戦略への支援に参加しています。ダーン財団は、インド国内の生命・医療・家畜・農作物を保障するマイクロインシュランスの普及を目指す取り組みを進めています。

\*マイクロインシュランスとは、一般的に低所得者層を対象とした掛金、保障額が少ない小口の保険を指します。これまで保険に加入することが難しかった人々が生活上のリスクを回避・軽減できる手段の一つとなっています。



 **国際協同組合保険連合 (ICMIF) ホームページ** <https://www.icmif.org/>

## 1

### コープ共済連の概要

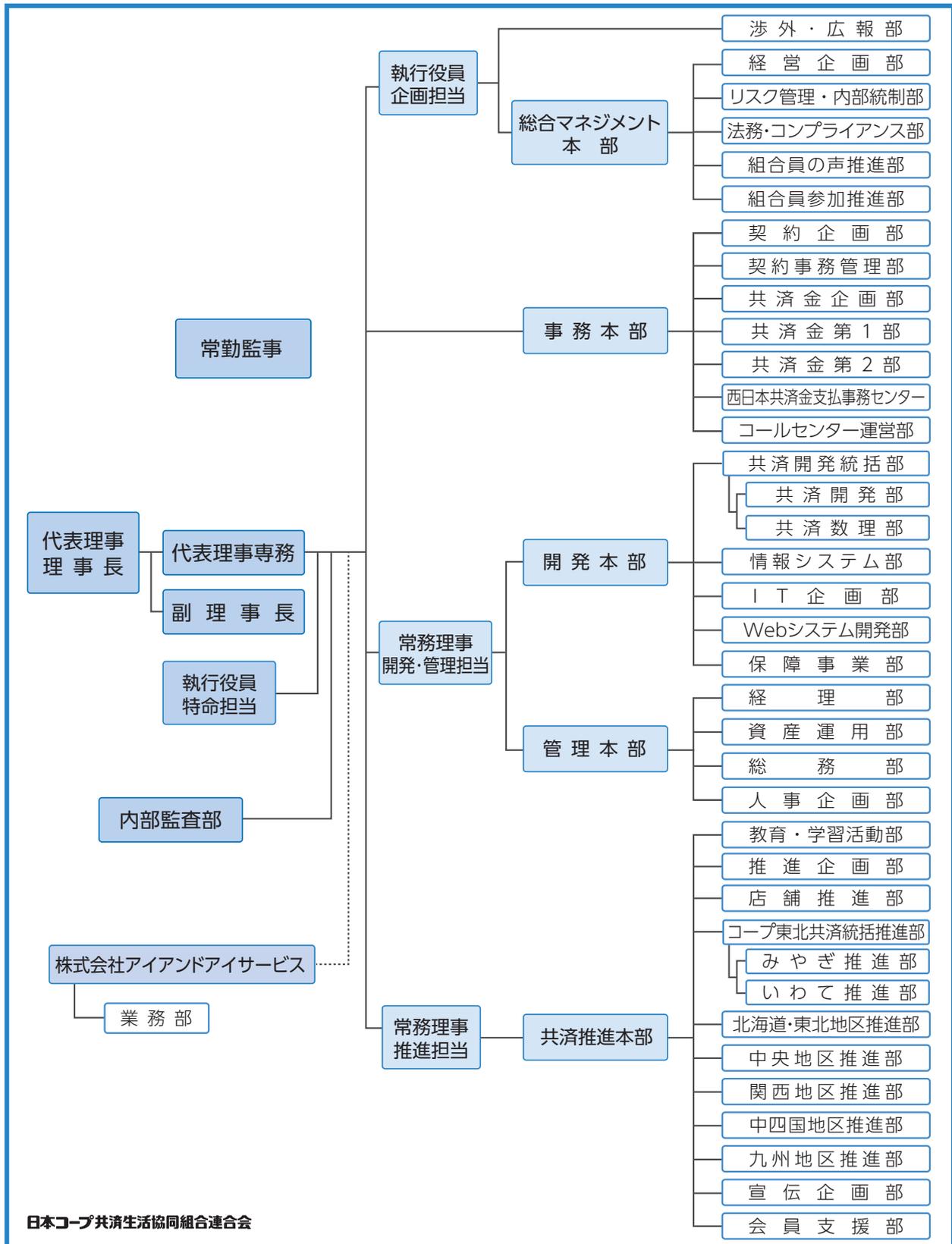
#### ■ 主な業務内容

会員の組合員の生活の共済を図る事業

#### ■ 事務所の所在地

コープ共済プラザ 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目1番13号

#### ■ 組織機構図 (2020年7月21日現在)



■ 役員一覧 (2020年6月12日現在)

役 名	氏 名	所 属
代表理事 理事長	和 田 寿 昭	日本コープ共済生活協同組合連合会
副 理 事 長	嶋 田 裕 之	日本生活協同組合連合会
代表理事 専務	荻 原 多加資	日本コープ共済生活協同組合連合会
常務理事 推進担当	中 島 三 郎	日本コープ共済生活協同組合連合会
常務理事 開発・管理担当	和 田 長太郎	日本コープ共済生活協同組合連合会
理 事	荒 竹 純 一	さくら共同法律事務所
理 事	岡 田 太	日本大学商学部
理 事	寺 尾 善 喜	全国大学生協共済生活協同組合連合会
理 事	山 崎 伸 彦	元 厚生労働省 大臣官房審議官
理 事	米 内 徹	生活協同組合コープさっぽろ
理 事	松 川 裕 子	生活協同組合コープあおもり
理 事	飯 塚 明 彦	いわて生活協同組合
理 事	中 村 憲 治	生活協同組合コープみらい
理 事	室 崎 正 徳	パルシステム共済生活協同組合連合会
理 事	朝 原 隆 充	生活協同組合ユーコープ
理 事	岡 田 由 香 子	生活協同組合ユーコープ
理 事	竹 生 正 人	福井県民生活協同組合
理 事	太 田 栄 一	生活協同組合コープながの
理 事	小 野 修 三	生活協同組合コープあいち
理 事	濱 田 弥 生	生活協同組合コープしが
理 事	多 村 孝 子	生活協同組合コープこうべ
理 事	横 山 弘 成	生活協同組合ひろしま
理 事	池 和 代	こうち生活協同組合
理 事	堤 新 吾	エフコープ生活協同組合
理 事	山 里 小 百 合	生活協同組合コープおきなわ
理 事	高 橋 忠 雄	全国労働者共済生活協同組合連合会
理 事	笹 川 博 子	日本生活協同組合連合会
常 勤 監 事	山 口 健 治	日本コープ共済生活協同組合連合会
監 事	大 塚 忠 義	早稲田大学大学院会計研究科
監 事	桃 崎 有 治	桃崎有治公認会計士事務所
監 事	鴨 志 田 和 宏	いばらきコープ生活協同組合
監 事	丹 羽 裕 孝	生活協同組合コープぎふ

1	CO・OP共済とは
2	2019年度のトピックス
3	2019年度の事業と経営の概況
4	CO・OP共済商品の紹介
5	CO・OP共済のご加入とお支払い
6	組合員の声にもとづく事業運営
7	リスク管理・コンプライアンスの取り組み
8	組合員・利用者へのサポート
9	社会的取り組み
10	コープ共済連および子会社の組織概要

## 2

## 子会社の概況

## ■ 生協における保険代理業

生協では、組合員のくらしの保障ニーズにより広く応えるため、共済事業を補完する事業として、子会社または関連会社を通じて保険商品の取り扱い(保険代理業)を行っています。保険代理業は、保険業法にもとづき、損害保険代理店および生命保険代理店の登録を行い実施しています。

## ▶ 全国の会員生協における取扱保険商品

- ◆ 各種損害保険……傷害保険、賠償責任保険、自動車保険、火災保険、その他
  - ◆ 各種生命保険……がん保険、三大疾病保険、定期生命保険、終身保険、その他
- ※生協によって、実施状況や扱っている保険商品などに違いがあります。

## ▶ 株式会社 アイアンドアイサービス

組合員、会員生協の様々なニーズに対応した保障の実現を目的に、1986年に設立しました。

所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-1-13	
設立年月日	1986年11月10日	
資本金	9,000万円	
株主	日本コープ共済生活協同組合連合会 (90%出資) 日本生活協同組合連合会 (10%出資)	
役員	代表取締役社長 荻原 多加資 (非常勤)      常務取締役 三村 哲弘 (常勤) 専務取締役 和田 長太郎 (非常勤)      取締役 井上 善之 (非常勤) 専務取締役 中島 三郎 (非常勤)      監査役 山口 健治 (非常勤)	
主な事業内容	1. 日本生協連を契約者、会員生協を加入者とする全国制度の保険 生協行事保険・労働災害上乗せ補償制度・生協福祉事業に関する総合補償制度 生協福祉活動保険・生協役員賠償責任保険・全国生協管財保険 生協総合賠償責任保険制度 (PL補償・フードリコール補償・情報漏えい補償) 2. CO・OP共済に追加加入できる個人賠償責任保険 3. 全国役職員共済会を契約者とする長期休業サポート 4. 日本生協連・コープ共済連の職域団体損害保険各種 5. 日本生協連および関連会社に関わる損害保険	
事業実績	2019年度営業収入      854百万円 2019年度収入保険料    5,091百万円	
当連合会の議決権の比率	90%	
当連合会子会社の議決権の比率	該当する子会社なし	

## ■ 決算概況

### ◆ 貸借対照表 (2020年3月20日現在)

(単位:千円)

資産の部			負債の部		
科 目	2018年度 金 額	2019年度 金 額	科 目	2018年度 金 額	2019年度 金 額
流動資産	1,576,444	1,765,743	流動負債	962,864	1,035,935
固定資産	702	5,257	固定負債	—	—
有形固定資産			負債の部合計	962,864	1,035,935
無形固定資産			株主資本	614,283	735,066
投資その他の資産			資本金	90,000	90,000
			利益剰余金	524,283	645,066
資産の部合計	1,577,147	1,771,001	純資産の部合計	614,283	735,066
			負債及び純資産の部合計	1,577,147	1,771,001

### ◆ 損益計算書 (自2019年3月21日 至2020年3月20日)

(単位:千円)

科 目	2018年度 金 額	2019年度 金 額
【純売上高】	842,918	854,503
手数料収入	839,572	850,648
事務受託費用	3,346	3,855
売上総利益	842,918	854,503
【販売管理費及び一般管理費】	516,193	530,333
営業利益	326,724	324,169
【営業外収益】	11	31
【営業外費用】	—	944
経常利益	326,736	323,257
【特別損失】	—	—
税引前当期純利益	326,736	323,257
法人税等	121,766	107,630
法人税等調整額	△8,284	4,843
当期純利益	213,254	210,782

### ◆ 株主資本等変動計算書

(単位:千円)

株主資本(純資産合計)	前期末残高	当期変動額	当期末残高
金 額	614,283	120,782	735,066

## ● CO・OP共済に追加加入できる個人賠償責任保険の取り扱い状況

個人賠償責任保険は、共栄火災海上保険株式会社を主幹事とし、コープ共済連を団体保険契約者とする団体保険契約です。CO・OP共済《たすけあい》ジュニア20コース・女性コース・医療コース・ベーシックコース・シルバー70コース・ウェルカムコース・ケガ通院コース、CO・OP共済《あいがらす》プラチナ85・ゴールド85・ゴールド80に追加して加入できます。

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
加入者数(件)	2,375,740	2,413,391	2,461,880	2,512,144	2,544,884
保険金支払件数(件)	24,024	23,046	21,971	20,389	19,662
保険金支払金額 (千円/千円未満切り捨て)	2,740,670	2,949,481	3,013,315	3,017,077	2,992,785

1 CO・OP共済とは

2 2019年度のトピックス

3 2019年度の事業と経営の概況

4 CO・OP共済商品の紹介

5 CO・OP共済のご加入とお支払い

6 組合員の声にもとづく事業運営

7 コンプライアンスの取り組み

8 組合員・利用者へのサポート

9 社会的取り組み

10 コープ共済連のおよび子会社の組織概要

## ■ 連結決算概況

### ◆ 主要な業務の状況を示す指標

(単位：千円/千円未満切り捨て)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
経常収益	206,799,166	213,410,815	219,699,167	225,978,799	231,217,884
経常剰余金	48,342,177	48,494,893	49,104,770	47,998,362	50,197,653
当期剰余金	10,336,299	10,412,869	10,043,649	8,907,916	9,920,610
純資産額	115,710,805	125,548,617	134,748,782	142,566,385	149,934,449
総資産額	331,139,748	359,405,353	391,057,443	423,240,185	453,707,478

### ◆ 連結貸借対照表

(単位：千円/千円未満切り捨て)

資産の部			負債の部		
科 目	2018年度 金 額	2019年度 金 額	科 目	2018年度 金 額	2019年度 金 額
現金及び預金	134,135,549	127,591,839	共済契約準備金	259,856,754	282,233,144
金銭の信託	55,966,031	99,876,158	再共済勘定	214,811	227,549
有価証券	198,482,025	189,000,249	業務委託勘定	4,181,529	4,389,284
貸付金	—	—	業務受託勘定	341,138	345,235
再共済勘定	199,359	265,572	その他共済負債	30,949	48,352
業務委託勘定	7,255,073	7,423,982	未払費用	2,709,380	2,601,317
業務受託勘定	457,228	468,548	その他負債	7,337,374	7,218,044
その他共済資産	181,825	143,164	賞与引当金	202,115	215,079
前払費用	73,143	84,446	退職給付に係る負債	1,622,866	1,683,841
未収収益	178,483	173,360	価格変動準備金	4,176,880	4,811,180
その他資産	1,071,515	1,343,779	負債合計	280,673,800	303,773,029
業務用固定資産	8,521,712	9,183,681	<b>純資産の部</b>		
関係団体等出資金	260,790	260,790	会員資本	141,618,059	150,749,294
繰延税金資産	16,457,448	17,891,903	出資金	63,359,600	63,359,600
資産合計	423,240,185	453,707,478	剰余金	78,258,459	87,389,694
			資本剰余金	—	13,087
			利益剰余金	78,258,459	87,376,607
			評価・換算差額等	823,450	△889,361
			その他有価証券評価差額金	1,066,862	△728,485
			退職給付に係る調整累計額	△243,411	△160,875
			非支配株主持分	124,875	74,515
			純資産合計	142,566,385	149,934,449
			負債・純資産合計	423,240,185	453,707,478

### ◆ 連結損益計算書

(単位：千円/千円未満切り捨て)

科 目	2018年度 金 額	科 目	2019年度 金 額
経常収益	225,978,799	経常収益	231,217,884
共済掛金等収入	193,167,027	共済掛金等収入	197,193,956
共済契約準備金戻入額	30,974,466	共済契約準備金戻入額	31,850,974
資産運用収益	1,752,453	資産運用収益	2,073,929
その他経常収益	84,852	その他経常収益	99,024
経常費用	177,980,436	経常費用	181,020,231
共済金等支払額	101,448,746	共済金等支払額	104,069,445
共済契約準備金繰入額	19,006,152	共済契約準備金繰入額	18,826,364
資産運用費用	128,703	資産運用費用	155,984
事業経費	56,965,870	事業経費	57,639,630
その他経常費用	430,963	その他経常費用	328,807
経常剰余金	47,998,362	経常剰余金	50,197,653
特別利益	—	特別利益	—
特別損失	575,175	特別損失	656,393
税金等調整前当期剰余金	47,423,187	税金等調整前当期剰余金	49,541,259
法人税等	4,731,318	法人税等	4,990,979
法人税等調整額	△1,072,047	法人税等調整額	△771,331
割戻準備金繰入額	34,856,000	割戻準備金繰入額	35,401,000
当期剰余金	8,907,916	当期剰余金	9,920,610
非支配株主に帰属する当期剰余金	42,650	非支配株主に帰属する当期剰余金	42,156
親組合に帰属する当期剰余金	8,865,265	親組合に帰属する当期剰余金	9,878,454

## ◆ 連結純資産変動計算書

(単位：千円/千円未満切り捨て)

2018年度	会員資本			評価・換算差額等			非支配株主持分	純資産合計	
	出資金	剰余金		会員資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額			評価・換算差額等合計
		利益剰余金							
当期首残高	63,358,600	70,153,475	133,512,075	1,321,423	△ 184,940	1,136,482	100,224	134,748,782	
当期変動額									
会員出資金の増資	2,000	—	2,000	—	—	—	—	2,000	
会員出資金の減資	△ 1,000	—	△ 1,000	—	—	—	—	△ 1,000	
剰余金の配当	—	△ 760,282	△ 760,282	—	—	—	—	△ 760,282	
出資配当	—	△ 760,282	△ 760,282	—	—	—	—	△ 760,282	
親組合に帰属する当期剰余金	—	8,865,265	8,865,265	—	—	—	—	8,865,265	
会員資本以外の項目の当期変動額	—	—	—	△ 254,560	△ 58,470	△ 313,031	24,650	△ 288,380	
当期変動額合計	1,000	8,104,983	8,105,983	△ 254,560	△ 58,470	△ 313,031	24,650	7,817,602	
当期末残高	63,359,600	78,258,459	141,618,059	1,066,862	△ 243,411	823,450	124,875	142,566,385	

(単位：千円/千円未満切り捨て)

2019年度	会員資本				評価・換算差額等			非支配株主持分	純資産合計
	出資金	剰余金		会員資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	評価・換算差額等合計		
		資本剰余金	利益剰余金						
当期首残高	63,359,600	—	78,258,459	141,618,059	1,066,862	△ 243,411	823,450	124,875	142,566,385
当期変動額									
会員出資金の増資	11,000	—	—	11,000	—	—	—	—	11,000
会員出資金の減資	△ 11,000	—	—	△ 11,000	—	—	—	—	△ 11,000
剰余金の配当	—	—	△ 760,306	△ 760,306	—	—	—	—	△ 760,306
出資配当	—	—	△ 760,306	△ 760,306	—	—	—	—	△ 760,306
連結子会社株式の取得による持分の増減	—	13,087	—	13,087	—	—	—	—	13,087
親組合に帰属する当期剰余金	—	—	9,878,454	9,878,454	—	—	—	—	9,878,454
会員資本以外の項目の当期変動額	—	—	—	—	△ 1,795,348	82,535	△ 1,712,812	△ 50,359	△ 1,763,171
当期変動額合計	—	13,087	9,118,147	9,131,235	△ 1,795,348	82,535	△ 1,712,812	△ 50,359	7,368,063
当期末残高	63,359,600	13,087	87,376,607	150,749,294	△ 728,485	△ 160,875	△ 889,361	74,515	149,934,449

## ◆ 貸付金の関連

破綻先債権、延滞債権等に該当する貸付金はありません。

## ◆ 事業の種類ごとの区分に属する経常収益の額、経常剰余金または経常損失金の額および資産の額

子会社は1社であり、事業の種類ごとに該当する記述はありません。

## ◆ 重要事象関連

重要事象に該当するものではありません。

1  
C O P 共済とは

2  
2019年度の  
トップ  
ックス

3  
2019年度の  
概況

4  
C O P 共  
済の  
紹介

5  
C O P 共  
済の  
ご加入  
とお支  
払い

6  
組合  
員の  
声に  
も  
と  
づ  
く  
事  
業  
運  
営

7  
コ  
リ  
ス  
プ  
ラ  
イ  
ア  
ン  
ス  
の  
取  
り  
組  
み

8  
組  
合  
員  
・  
利  
用  
者  
へ  
の  
サ  
ポ  
ー  
ト

9  
社  
会  
的  
取  
り  
組  
み

10  
コ  
ー  
プ  
共  
済  
連  
の  
お  
よ  
び  
子  
会  
社  
の  
組  
織  
概  
要